

令和3年度 学校総合体育大会埼玉県大会 サッカーの部 準決勝 第1試合  
戦評

令和3年7月29日

令和3年度学校総合体育大会県大会準決勝は新座市立第二中学校とさいたま市立白幡中学校の対戦となった。それぞれ昨年度新人体育大会県大会優勝校の埼玉栄中、同大会3位のさいたま市立尾間木中学校を破っての準決勝進出である。

新座市立第二中学校は1-4-3-3のシステムで、⑤関口、②廣瀬を中心としたDFラインは1対1の対応力も高い。②1覚田がアンカーの位置で的確に相手の攻撃の芽を摘み、⑧美島、⑩工藤が自在に動きチャンスを作る。②3新田のドリブル突破も攻撃の良いアクセントとなっている。

さいたま市立白幡中学校は1-4-4-2のシステムで③石川を中心としたDFラインは粘り強い守備を見せる。⑩勇を中心としたMFラインも劣を惜しまない守備からボールを奪うとポジションを入れ替えながら多彩な攻撃を見せる。

試合は白幡中のキックオフで開始。新座二中がボールをつなぎ始めボール支配率を高めるが、白幡中は粘り強い守備や早いサイドチェンジからチャンスを作る。

前半7分⑥真下のCKがオウンゴールを呼び、二中が先制。続いて9分⑥真下が自陣からスピードに乗った突破から追加点を奪う。

15分過ぎから白幡中も新座二中のプレッシャーに慣れ、うまくパスをつなぐことができるようになり、サイドのスペースを使えるようになった。クーリングブレイク後も新座二中の攻撃に対し、早い寄せと豊富な運動量で数的優位な状況を作り出し、有効な攻撃を許さなかった。

また、⑪波多野のオフザボールの質の高い攻撃からシュートチャンスを作り出す。

新座二中はあわてることなくGK①佐藤の正確なフィードを使いながら、ゆとりあるビルドアップで右サイド⑥真下のスピードに乗った突破と②3新田のテクニカルなドリブルでチャンスを作ろうとした新座二中がやや優位のまま2-0で前半が終了した。

後半白幡中が積極的な姿勢を見せ、⑩勇を中心にショートカウンターでチャンスを作り出した。なかなか有効な攻撃を作り出せなかった新座二中だが、36分に⑧美島から交代して入った⑩阿部にサイドチェンジのパスが通り、クロスを入れ②3新田がうまくゴール前に入りシュート3点目を奪う。

41分落ち着いたビルドアップから④伊藤から30mのグラウンダーのスルーパス、タイミングの良いランニングから⑧美島が抜け出し4点目を奪う。

白幡中はボール際で数的優位を作りボールを奪うが、奪った後の周りの動きが遅れ始め、有効な攻撃を生み出せなくなる。それでも終了間際は、ゴール前でシュートチャンスを作りだすことができたが得点することができず終了を迎えた。

白幡中は⑤半田、③石川のCBを中心にMFの選手も運動量を落とすことなく粘り強く最後までひたむきに闘う姿勢を見せた。

新座二中は個人の判断を大切にしながらDFラインの堅い守備と後半は⑧美島が豊かなアイデアを生かし、スピード感にあふれた攻撃を展開。守備でも一人一人の球際の強さが目立った。